

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今報告ヲ致シマシタル通印紙稅法案ニ附キマシ
チハ衆議院ヨリ協議會ノ要求ガアリマス、十名ノ協議委員ヲ選定セネバナラ
ヌノデアリマス、其選定ヲ唯今議事ニ取掛前ニ致シタイト思ヒマス
○伯爵大原重朝君 其數ハ當院テモ同數ノ委員ヲ議長ノ選定アランコト
ヲ…
○子爵堤功長君 賛成
○議長(公爵近衛篤磨君) 讀長ニ於テ選定スルト云フコトニ御異議ハアリマ
セヌカ
〔異議ナント呼フ者アリ〕

然ラバ其通致シマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、明治三十一年度歲入歲
出總豫算追加案(第九號)審査期限ヲ定ムルノ件

○子爵堤功長君 今日ハ豫算委員長副委員長モ闕席ノヤウデアリマスカラ本
員カフ申シマス、本日ヨリ三日間ニ報告スルト云フコトニ…
○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成
○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

然ラバ…水先法案、政府提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

右 水先法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十一年二月二十一日

内閣總理大臣 侯爵山縣有朋
遞信大臣 子爵芳川顯正

(左ノ讀案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

水先法案

第一條 水先人ハ水先免狀ヲ有スルコトヲ要ス

水先人ニアラサル者ハ水先區ニ於テ船舶ノ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス
人名簿ニ登録セラレタル者ニ授與ス

第三條 左ノ各號ニ該當スル者ハ水先人タルコトヲ得ス
一 滿二十三年ニ達セサル者及滿六十年以上ノ者
二 剝奪公權者
三 家資分散者及破產者
四 瘋癲白痴者及身體不具又ハ羸弱ニシテ業務ヲ營ムニ不適當ナル者
五 水先免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者
六 水先人ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ業務ヲ營ムコトヲ
得ス

一 公權ヲ行フコトヲ停止セラレタルトキ

一一 水先免狀ノ行使ヲ停止若ハ假停止セラレ又ハヲ差押ヘラレタルトキ
第五條 水先人其ノ業務ニ從事スルトキハ水先免狀及水先法令書ヲ携帶ス
ヘン

水先人ハ當該官吏若ハ公吏ノ命令ニ依リ又ハ水先人ヲ要招シタル船長ノ
要求ニ依リ水先免狀又ハ水先法令書ヲ開示スヘン
第六條 水先人其ノ業務ニ從事スル爲水先船ニ乗込ミタルトキハ晝間ニ在
リテハ水先旗ヲ掲揚シ夜間ニ在リテハ海上衝突豫防法第八條ノ規定ニ依
ルヘシ

第七條 水先人ヲ要招セントスルトキハ船長ハ水先信號ヲ爲スヘン
第八條 水先人水先信號ヲ認メタルトキハ直ニ要招ニ應スヘシ

二艘以上ノ船舶ニ於テ同時ニ水先信號ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ中ニ危
難ニ罹リタル船舶アルトキハ水先人ハ前項ノ規定ニ拘ラス該船舶ノ要招
最モ近キ船舶ノ要招ニ應スヘシ

二艘以上ノ船舶ニ於テ同時ニ水先信號ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ中ニ危
難ニ罹リタル船舶アルトキハ水先人ハ前項ノ規定ニ拘ラス該船舶ノ要招
ニ應スヘシ

第九條 二人以上ノ水先人同時ニ要招ニ應シタルトキハ其ノ何レヲシテ水
路ヲ嚮導セシムヘキカハ船長ノ選擇スル所ニ依ル

第十條 水先人水先船ヲ去リタルトキハ水先旗ヲ撤去スヘシ

第十一條 水先人水路ヲ嚮導スヘキ船舶ニ乘込ミタルトキハ其ノ氏名及水
先人タルコトヲ船長ニ告知スヘシ

第十二條 水先人水路ヲ嚮導スヘキ船舶ニ乘込ミタルトキハ其ノ氏名及水
先人タルコトヲ船長ニ告知スヘシ

第十三條 水先人ハ同時ニ二艘以上ノ船舶ノ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス但
シ船舶運航ノ自由ヲ得ス又ハ水先人ヲ得ル能ハサル爲其ノ船舶ト水路ヲ
嚮導スヘキ船舶ト曳綱ヲ以テ聯結セラレタルトキハ此ノ限ニアラス

第十四條 水先人水路ヲ嚮導シタルトキハ船長ニ對シ水先案内料ヲ請求ス
ル權利ヲ有ス

前條但書ノ場合ニ於テハ水先人ハ各艘ノ船舶ニ付前項ノ權利ヲ有ス

第十五條 水先案内料ハ命令ヲ以テ定ムル額ヲ超過スルコトヲ得ス
十六條 水先人ハ水先修業生一名ニ限り水路ヲ嚮導スヘキ船舶ニ之ヲ伴
フコトヲ得但シ二名以上ヲ伴ハントスルトキハ船長ノ承諾ヲ經ヘシ

第十七條 水先區、水先旗ノ様式及水先信號ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十八條 主務大臣ハ水先區ヲ指定シテ水先人ノ員數ヲ制限シ水先人組合
ヲ設ケシメ又ハ水先船ノ免狀及儀裝ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ
得

第十九條 水先人其ノ業務ニ從事スルニ當リ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於
テハ海員審判所ハ裁決ヲ以テ之ヲ懲戒ス

一 過失、懈怠又ハ不當ノ行爲ニ因リ人ヲ殺傷シタルトキ
二 過失、懈怠又ハ不當ノ行爲ニ因リ人ヲ殺傷シタルトキ
三 業務ヲ怠リ又ハ業務上ノ義務ニ違反シタルトキ
四 亂醉、粗暴其他ノ失行アリタルトキ

水先人組合ニ屬スル水先人其ノ組合規約中命令ノ規定ニ依リ懲戒ニ付ス 前項ノ事件海員審判所ニ屬ス ヘキ事項ニ違背シタルトキ亦前項ニ同シ	第二十條 前條ニ依リ審判ニ付スヘキ事件ノ管轄ハ其ノ水先人ノ住所ヲ管轄スル地方海員審判所ニ屬ス
ハ前項ノ管轄ハ海員懲戒法ニ依ル事件ヲ管轄スル地方海員審判所ニ屬ス	第二十一條 水先人ノ懲戒ニ關シ此ノ法律ニ規定ナキモノニ付テハ海員懲戒法ノ規定ヲ準用ス
傷ニ致シタルトキハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ五十圓以上六百圓以下ノ罰金ニ處ス	第二十二條 水先人其ノ業務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損若ハ覆沒シ又ハ人ヲ死シ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ亦前項ニ同シ
水先人ニアラサル者水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シ因テ船舶ヲ毀損若ハ覆沒シ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ亦前項ニ同シ	第二十三條 左ノ各號ニ該當スル者ハ二百五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第一四條ノ規定ニ違反シテ水先人ノ業務ヲ營ミタル者及之ヲシテ水路ヲ嚮導セシメタル者	第一四條ノ規定ニ違反シテ水先人ノ業務ヲ營ミタル者及之ヲシテ水路ヲ嚮導セシメタル者
第八條第二項第三項又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者	第八條第二項第三項又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者
第十五條ノ規定ニ違反シテ水先案内料ヲ授受シタル者	第十五條ノ規定ニ違反シテ水先案内料ヲ授受シタル者
水先免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者	水先免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者
詐偽ノ目的ヲ以テ船舶ノ喫水若ハ積量ニ付水先人ニ對シ不實ノ告知ヲ爲シ又ハ喫水ノ標識ヲ變更シタル者	詐偽ノ目的ヲ以テ船舶ノ喫水若ハ積量ニ付水先人ニ對シ不實ノ告知ヲ爲シ又ハ喫水ノ標識ヲ變更シタル者
水路ノ嚮導ヲ要求セラレタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ之ニ應セサル者又ハ之ニ應シタルモ正當ノ理由ナクシテ水路ヲ嚮導セサル者	水路ノ嚮導ヲ要求シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ水路ヲ嚮導セサル者
水先人ニアラスシテ水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シタル者	水先人ニアラスシテ水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シタル者
シテ水路ヲ嚮導セシメス又ハ正當ノ理由ナクシテ水先人ヲ外ニ伴ヒタル者	シテ水路ヲ嚮導セシメス又ハ正當ノ理由ナクシテ水先人ヲ外ニ伴ヒタル者
第一四條左ノ各號ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス	第一四條左ノ各號ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五條第六條第十條第十一條又ハ第十二條ノ規定ニ違反シタル者	第五條第六條第十條第十一條又ハ第十二條ノ規定ニ違反シタル者
水先人ヲ要招スル爲ニアラスシテ水先信號又ハ之ト誤認シ易キ信號ヲ爲シタル者	水先人ヲ要招スル爲ニアラスシテ水先信號又ハ之ト誤認シ易キ信號ヲ爲シタル者
水先人第十六條ノ規定ニ依リ水先修業生ヲ伴ヒタル場合ニ於テ之ヲ拒ミタル者又ハ同上但書ノ規定ニ違反シテ水先修業生ヲ伴ヒタル者	水先人第十六條ノ規定ニ依リ水先修業生ヲ伴ヒタル場合ニ於テ之ヲ拒ミタル者又ハ同上但書ノ規定ニ違反シテ水先修業生ヲ伴ヒタル者
第十八條第一項ニ依リ定ムル規定ニ從ヒテ水先船ヲ纏裝セス又ハ水先船免狀ヲ有セシテ水先船ヲ使用シタル者	第十八條第一項ニ依リ定ムル規定ニ從ヒテ水先船ヲ纏裝セス又ハ水先船免狀ヲ有セシテ水先船ヲ使用シタル者
水先人ニアラスシテ水先旗若ハ之ト誤認シ易キ旗ヲ船舶ニ掲揚シ又ハ海上衝突豫防法第八條ノ點燈及信號ヲ爲シタル者	水先人ニアラスシテ水先旗若ハ之ト誤認シ易キ旗ヲ船舶ニ掲揚シ又ハ海上衝突豫防法第八條ノ點燈及信號ヲ爲シタル者
メタルトキハ命令ヲ以テ定メタル當該水先區ノ水先案内料ト同額以上二倍以下ノ罰金ニ處ス	メタルトキハ命令ヲ以テ定メタル當該水先區ノ水先案内料ト同額以上二倍以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 水路ヲ嚮導セシメサレハ航行危險ナル場合ニ於テ水先人ヲ得ル能ハサルカ爲水先人ニアラサル者ヲシテ水路ヲ嚮導セシメタルモノナルトキハ前條及第二十三條第八號ノ規定ヲ適用セス

第二十七條 此ノ法律中船長ニ關スル規定ハ船長ニ代ハリテ其ノ職務ヲ行フ者ニ亦之ヲ適用ス

附 則

第二十八條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條 明治十一年第三十七號布告ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十條 明治十一年第三十七號布告ニ依リテ授與シタル水先免狀ハ主務大臣ノ定ムル所ニ從ヒ此ノ法律ニ依リテ授與スル水先免狀ト交換ス
前項ノ交換ヲ了スルマテハ舊水先免狀ハ該免狀ニ記載スル水先區中此ノ
法律ニ依リテ定メタル水先區ニ該當スル部分ニ限り之ヲ代用スルコトヲ
得

舊水先免狀ヲ有スル者第三條ノ各號ニ該當スルトキハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第三十一條 此ノ法律施行前ヨリ其ノ施行後マテ引續キ水路ヲ嚮導スル場合ニ於テハ水先案内料ハ明治十一年第三十七號布告ニ依リテ之ヲ算定ス
ヘシ

第三十二條 第十九條第二十條及第二十一條ノ規定ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ亦之ヲ適用ス

○政府委員(古市公房君) 水先案内ノニトニ附キマシテハ明治十一年ニ發布セラレマシタ西洋形船水先免狀規則ト云フモノガゴザイマスルバカリデアリマス、然ルニ一方テハ其後近年船舶職員法、海員懲戒法採ガ既ニ發布ニ相成リマシタシ又過日衆議院へ船員法モ提出ニナリマシテ海員ニ關係致シマシタ制度ガ段々立チマスルノニ均シク海事ニ從事スル者デ水先ニ關シマシテハ右ノ十一年ノ布告ヨリ外ニゴザイマセヌデ甚ダ權衡ヲ得マセヌ、殊ニ是カラ先キ外國船ノ往來モ段々頻繁ニ相成リマスルト益々水先ニ關係スル道ノ精密ナル者ヲ必要ト致シマス、依クテ本案ヲ提出致シタ次第デアリマス

○磯邊包義君 政府委員ニ質問致シマス、水先法案ノ中ニ水先ノ區域ハ定テ居リマスルカソレカラ又水先人ハ公立デアリマスルカ私立デアリマスカ、水先人ニハ稅ガ掛カルノニアリマスカ、掛リマセヌカ、此三ツヲ承リタイ

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、現行法デハ水先區ハ唯今政府委員カラ御聞キノ通ニ西洋形船水先免狀規則ニ區域ヲ極メテアルノデゴザイマスガ本案ニハ其區域ヲ極メマスコト其他ノ細目ハ命令ニ讓ル積リデアリマス、又水先人ノ義務トシテ免狀ヲ受ケル時分ニ若干ノ稅ヲ納メルノデアリマス、ソレハ此後モ變ハルコトハアルマイト思ヒマス

- 政府委員(佐藤秀顯君) 今一應……
 ○穀邊包義君 水先人ハ官デ水先人ヲ養成サレマスカ、或ハ私立會社ノ如キ
 デ致シマスカ
 ○政府委員(佐藤秀顯君) ソレハ官デ命ジマシタ水先人ト云フ譯テハナイン
 デアリマス、免狀ヲ得マシテ自由ニ營業ヲスルノアリマス
 ○議長(公爵近衛篤齋君) 他ニ御質問等モナクバ委員選舉ニ移リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

- 子爵錦織敬久君 此委員ハ議長ニ御選定ヲ……

- 子爵小笠原壽長君 賛成

- 議長(公爵近衛篤齋君) 議長委託ニ御異議ハアリマセヌカ

- 議長(公爵近衛篤齋君) 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)第一讀會

右 非訟事件手續法中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年二月二十一日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
司法大臣 清浦奎吾

非訟事件手續法中改正法律案

非訟事件手續法中左ノ通改正ス
第三十七條 第百三十六條乃至第百三十八條及ヒ第百七十五條乃至第百七

十七條ノ規定ハ法人ノ清算人ニ之ヲ準用ス

第八十三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第八十三條ノ二 第八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ民法第三百五十

四條ニ依リ質物ヲ以テ直チニ辨濟ニ充ツルコトヲ申請スル場合ニ之ヲ

準用ス
申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登

裁判所カ申請ヲ許可シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ債務者ノ負擔

トス

第一百二十一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記

ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事カ同一登記所ニ第一項ノ申請

ヲ爲ス場合ニ於テハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第一百二十六條 商法第四十七條、第四十八條、第一百十一條第二項、第一百二

十四條、第一百六十條第二項、第一百九十六條第二項、第一百九十八條及ヒ商

法施行法第九十五條第二項、第一百二條第二項、第一百十條第二項ニ定メタ

ル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス

商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命セラルヘキ外國會社ノ支店

商法第二百三十三條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地

- ノ區裁判所ノ管轄トス
商法第二百八十九條第一項及ヒ第六百十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
第一百二十九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ
ル裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽クヘシ
前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ要ス
第一百三十一条 商法第百十一條第二項ノ規定ニ依リ検査ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ検査ヲ要スル事由、同法第百六十條第二項ノ規定ニ依リ總會招集ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ取締役カ其招集ヲ怠リシ事實ヲ疏明スルコトヲ要ス
前項ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス
第一百三十四条 商法第四十七條、第四十八條及ヒ商法施行法第一百二條第二項ノ場合ニ於ケル會社ノ解散ノ命令ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前利害關係人ノ陳述ヲ聽キ検査ノ意見ヲ求ムヘシ
前二項ノ規定ハ會社ノ申請ニ因リ開業期間ノ伸長ニ付キ裁判ヲ爲ス場合、商法施行法ノ規定ニ依リ會社ノ營業ノ禁止ヲ命スル場合及ヒ日本ニ設立シタル外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス
第一百三十五条 裁判所ハ執行停止ノ效力ヲ有ス
得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス
抗告裁判所カ會社ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ國庫ノ負擔トス
第一百三十五条ノ二 會社ノ解散若クハ營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル裁判カ確定シタルトキハ裁判所ハ解散シタル會社ノ營業ヲ禁止セラレタル會社ノ本店及ヒ支店又ハ閉鎖シタル外國會社ノ支店所在地ノ商業登記所ニ其登記ノ囑託ヲ爲スヘシ抗告裁判所カ裁判ヲ爲シタルトキ亦同シ
登記所カ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ外國會社ニ付テハ其支店ノ登記ヲ抹消シ營業ヲ禁止セラレタル會社ニ付テハ其本店及ヒ支店ノ登記ニ其旨ヲ記載スヘシ
第一百三十五条ノ三 第百二十六條第一項及ヒ前三條ノ規定ハ會社ニ非スシテ商業登記ヲ爲シタル者ニ對シ裁判所カ商法施行法ノ規定ニ依リテ營業ノ禁止ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス
第一百五十七条 不動產登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條及ヒ第二十四條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス
第一百五十九條 商法施行法第十三條第一項ノ規定ニ依リ他人カ登記シタル商號ト同一ノ商號ノ登記ヲ申請スル者ハ舊商法施行前ヨリ之ヲ使用スルコトヲ證明スルコトヲ要ス
第一百六十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ承繼人カ商號ヲ續用セントスルトキハ其資格ヲ證スル書面又ハ讓受證書ヲ添へ其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

中ニハ商業登記其外商事非訟事件ニ關スル規定ガ掲ゲテアルノデ然ルニ當議會ニ商法施行法案ガ更ニ提出ニナリマシテ其案ハ前議會ニ提出ニナリマシタ案トハ多少異ル所ガアルノデゴザイマス、就キマシテハ此非訟事件手續法中ノ商業登記等ノ規定モ商法施行法案ト釣合ヲ取リマシテ改正セネバナラヌコトニ相成リマシタ、此改正案ハ右様ノ關係ヲ有シテ居リマスルデ成ルベク商法施行法案ト同時ニ御調査ニナリマシタナラバ一層便宜ニアラウト信ジマス、御参考ニ述べテ置キタイ

○公爵德川家達君 是カラ商法施行法案特別委員會ヲ開キタウゴザイマス、退席ヲ御許シヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤齋君) 宜シウゴザイマス……御質問ガゴザイマセネバ委員選定ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此法案ハ唯今政府委員カラ御説明ノアリマシタ通商法施行法案ニ關係シテ居リマス案ニアリマスカラ商法施行法案ト同一委員ニ付託シタウゴザイマス

○子爵小笠原壽長君 ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤齋君) 小笠原子爵ノ説ニ御異議ハゴザイマセカ
(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齋君) 長野縣下郡廢置及郡界變更法律案政府提出第一讀會

〔賛成ト呼フ者多シ〕
○議長(公爵近衛篤齋君) 小笠原子爵ノ説ニ御異議ハゴザイマセカ
(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齋君) 長野縣下郡廢置及郡界變更法律案政府提出第一讀會

〔小原書記官朗讀〕
右 長野縣下郡廢置及郡界變更法律案
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十二年二月二十一日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
内務大臣侯爵西鄉從道

長野縣信濃國下高井郡ヲ廢シ其ノ區域一部(夜間瀬村、科野村、倭村、木島村、上木島村、往郷村、穂高村、瑞穂村、豐郷村、市川村、塙村)ヲ同縣同郡下水内郡ニ編入シ他ノ一部(中野町、高丘村、平野村、延徳村、日野村、穂波村、平岡村、長丘村、平穩村)ヲ同縣同國上高井郡ニ編入ス

附 則

此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

〔政府委員深野一二三君演壇ニ登ル〕
此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

○政府委員(深野一二三君) 此長野縣ノ郡ノ廢置及郡界變更法律案ハ是ハ此理由書ニアリマス通極簡單ナモノデゴザイマシテ斯ウナリマシタ方ガ餘程行政上便利ト思ヒマス、縣會アタリカラ建議モアラテ居リマスカラドウカ皆サンノ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤齋君) 委員ノ選定ニ移リマス

○子爵錦織教久君 太宰モ議長ニ御委託シタウゴザイマス

○子爵堤功長君 賛成

○子爵高野宗順君 此案ハ此間ノ香川縣ノ方ノ委員ト同一委員ニ付託シタウガ便利ト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤齋君) 香川縣ハ此次ニアリマス
○子爵高野宗順君 心得達ヒヲ致シマシタ大分縣デゴザイマス

○伯爵大原重朝君 高野君ニ賛成

○子爵小笠原壽長君 本員ハ別ノ委員ガ宜カラウト思ヒマス、大分縣ハ隨分議論ガアルサウデアリマス、是ハ別ノ委員ノ方ガ宜カラウト思ヒマス、錦織子爵ニ賛成致シマス

○議長(公爵近衛篤齋君) 兩說成立ヲテ居リマス、錦織子爵ノハ單純ニ之ニルト云フノデアリマス、先づ錦織子爵ノ説カラ先ニ採決致シマス、錦織子爵ノ御説ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齋君) 過半數ト認メマス、香川縣下郡廢置及郡界變更法律案、政府提出第一讀會

〔小原書記官朗讀〕
起立者 多數

○議長(公爵近衛篤齋君) 過半數ト認メマス、香川縣下郡廢置及郡界變更法律案、政府提出第一讀會

〔小原書記官朗讀〕
香川縣下郡廢置法律案
右 政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十二年二月二十一日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤齋殿

香川縣下郡廢置法律案
香川縣讀岐國大内郡及寒川郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大川郡ヲ置ク
香川縣讀岐國阿野郡及鶴足郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ木田郡ヲ置ク
香川縣讀岐國那珂郡及多度郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ仲多度郡ヲ置ク
香川縣讀岐國三野郡及豊田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三豊郡ヲ置ク

附 則

○政府委員(深野一二三君) 此香川縣下郡廢置法案ハ是ハ郡制ヲ實施致シマス上ニ附イテ大イニ必要ナ法案デゴザイマスルガ、是が出來マセヌト郡制ノ實施ガ出來ナリ譯アゴザイマス、各府縣皆大概此廢置分合ヲ終リマシタガ、唯香川縣岡山縣ノ兩縣ガ今ニ殘クテ居リマスルデ、ドウカ香川縣ノ廢置法案ハ速ニ御協賛アランコトヲ希望致シマス

○籠手田安定君 チヨウト政府委員ニ念ノタメニ御尋シタウゴザイマス、此郡ノ廢置法案ハ續々出マスガ、是ハ人民ノ願ニ依クテ御遣リナサルノカ、或へ政府カラ此郡ハ小サイ郡デアラテ前途獨立立が出來ナリ地理モ惡イト云フ所デ合併ヲナサルノカ、其御方針ガドウデゴザイマスルカ、チヨウト伺ヒタインタリ、二度モ三度モヤツトコトガアル、人民ノ望ニ依クテ分割合併ヲナサル御目的カ、或ヘ政府ノ方モドウシテモ行政區畫ガ是デハ往カナイト云フ標準ガアラテ郡ノ分割合併ヲナスツテ獨立サセタイト云フ御見込デアルカ、是ダケノ御方針ヲヨクト念ノタメニ伺クテ置キタ

○政府委員(深野一二三君) 御答致シマスガ此香川縣ノ廢置案ハ是ハ郡制ヲ實

前項ノ場合ニ於テ日本ニ住居ヲ有セサル外國人ハ本國領事ノ證明書ヲ差出シ若シ領事ノ駐在ナキ場合ニ於テハ所在地ノ警察官ノ證明書ヲ差出ス可シ

○議長(公爵近衛篤麿君) 次ニ本案御異議ガナクバ可決ト認メマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 漁業法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル)

○伯爵吉井幸藏君 漁業法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告ヲ致シマス、此案ニ就キマシテ委員會ヲ二回開キマシテ十分審議ヲ致シマシテゴザンス、此法案ヲ提出サレマシタノハ明治八年頃ニ此漁業ノコトニ就キマシテ太政官ノ布達位デ茲ニナツタ法令ガ出テ居リマス、一種ノ漁業ニ附イテ一つノ達ガ出ルヤウナ工合ニナツテ居リマシテ、ソレカラ明治十九年ニ漁業組合準則ト云フモノガ出マシテソレデ目今ノ所ハ各府縣ニ於キマシテ、又漁業取締規則ト云フモノガ出来マシテ、取締ハヤツテ居ルノデゴザンスルケレドモ是マデ一定ノ制度ガナインデゴザリマシテ輓近水產ノ進歩スルニ從ヒマシテ水產物ノ繁殖保護竝ニ其取締上法律ヲ制定スルノ必要ガアツテ之ヲ提出サレタ、最も重要ナ法律デコザリマスル、委員會ニ於キマシテ十分審議致シマシタガ格別ムツカシイ議論モゴザイマセズ僅ノ修正ヲ唯ニシテ可決スベキモノト致シマシテゴザリマス、第四條ニ於キマシテ

又ハ專用ノ慣行アル漁業ニシテ前項ノ場合ニ該當スルトキハト云フ所ヘ「行政廳ハ」ト云フ四字ヲ加ヘマシテ是ハ前ノ第一項ニモゴザリマスル通「行政廳ハ漁業ノ免許ヲ取消シ又ハ制限スルコトヲ得」ト云フヤウナコトガゴザリマスルガ、此様ニ矢張コチラノ方ヘモ第二項ノ方ヘモ「行政廳ハ」ト云フコトヲ入レマスレバ最モ明デ宜カラウ、云フ所デ這入りマシタノデゴザリマス、ソレカラ第五條ニ於キマシテ第二項ノ「前項ノ場合ニ於テ」ト云フノトソレカラ「行政廳ノ違法處分ニ由リ」トゴザイマスルノデ、「行政廳ノ處分違法ニシテ」斯ウ云フ風ニ直シマシタ、是モナゼ前項ノ場合ニ於テト云フコトヲ削リマシタカト申シマスルト、前項ノ場合ト云フコトヲ置キマスルト、總テ此漁業免許ノ許否又ハ第三條及第四條ニ由リ行政廳ノ處分ト云フ外ニモ此訴願ヲ爲シタルキニハト云フコトニモ係ラウソレニ係ラテハ不都合デアルカラ前項ノ場合ニ於テト云フノヲ取ッテ置イタ方ガ宜カラウト云フノデ是ハ斯ウナリマシテゴザイマスル、ソレデ前項ノ場合ニ於テト云フコトヲ取ッタナラバ此案全體ニ係リハセヌカト云フ意見モゴザイマシタケレドモ、決シテサウニ云フ疑ハナイ、皆第五條マデノ所ニ係ルト云フヤウニ見エテ外ノ全體ニ係ルト云フヤウニハ見エナイト云フ委員會ノ意見デゴザイマシテ此通ニナリマシタノデゴザイマス、ソレカラ第十三條ニ於キマシテ第二項ノ二行ノ仕舞ノ所ノ字ヲ「アラス」ト云フノヲ「在ラス」ト更ヘマンテゴザイマス、是ハ法文ニハ多ク斯様ニナツテ居リマスカラ斯様ニ致シタラ宜カラウト云フノデゴザイマシテゴザイマス、ソレカラ第三項ニ於キマシテ「漁場ノ區域ヲ定メ」トゴザイマスルノデ削リマシテゴザイマスルガ、是ハ此漁業ノ組合ノ設置ヲ命ぜラレマシタル者ガ其方カラ漁場ノ區域ヲ定メテ出シマスルト銘々利益ニナルヤウニ勝手ニ

區域ヲ廣メタリ何カ致シマシテ隨分困ルコトガ行政廳ニ於テ出來ルアラウ、ソレデ是ハ慣行ノ區域ト云フモノガアリマスルデ先ツソレニ依リマシテソ附ケマシテコニ加ヘマシテゴザイマス、ソレカラ第十七條ヲ五圓以上、下ノ限制賄取締規則ト云フ明治……太政官ノ布達デゴザイマシテソレニ之ニ當ル所ガゴザイマス、ソレニ依テ比較ヲ取ラレタト云フコトデゴザイマス、第十九條モ矢張同シ法令ニ依ツテ比較ヲ取シタト斯ウニ云フコトデ此通決議ニナリマシテゴザイマスルカラ格別是ハムツカシイ法律デモナイヤウデゴザイマス、委員會ノ修正通御贊成ヲ下サイマシテ速ニ通過ヲ計ラレンコトヲ希望致シマス、ソレカラ序ニ申上ゲテ置キマスガ尙ホ之ニ附イテ御質問デモゴザイマスレバドウゾ政府委員此位ナラ相當デアラウト云フコトデ此通決議ニナリマシテゴザイマスルカラ格別是ハムツカシイ法律デモナイヤウデゴザイマス、委員會ノ修正通御贊成ヲ下サイマシテ速ニ通過ヲ計ラレンコトヲ希望致シマス、ソレカラ序ニ申上ゲテ置キマスガ尙ホ之ニ附イテ御質問デモゴザイマスレバドウゾ政府委員又ハ漁業ノコト杯ニ附キマシテハ委員中ニモ最モ能ク御存ノ御方モアラレスルカラ其方々へ御尋ヲ願ヒマス

○籠手田安定君 念ノタメニチヨウト質問ヲ致シタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 宜シウゴザイマス

○籠手田安定君 第三條ニゴザイマスル道廳府縣ノ管轄以外ニ涉ルモノアルトキハ關係地方長官云々トゴザイマス、此コトニ附キマシテ私ハ非常ニ難儀ヲ致シタコトガアリマスガ島根ニ居リマスルトキニ鳥取ノ方ト大變ニ漁業ノ區域ニ附イテノ争ガゴザイマシタ、ソレカラ又越後デハ此又越中ノ方ト大分争ガゴザイマシタガ、海面ノ凡ソドレダケガ管轄以外管轄以内トナリマスカ、此以外以内ト云フコトハ沖ノ方ニナリマスルト大變ニ分ラスモノデゴザイマスガ現ニ鯛漁杯ハズカト沖ニ出テヤリマス、ソレデ此管轄以内以外ト云フコトハ陸地カラ何里以内ハ越後ニ屬シ、何里以外ハ越後ニ屬セヌト云フヤウナコトハナイモノデアルカラソレデ争が起ル、ソレカラ段々進シテ來テ海岸ニ近イ所マデヤツテ來ル、其海岸モ管轄以外管轄以内ト云フコトハ餘程面倒ナモノデゴザイマス、之ガタメニ漁場ノ爭點トナツテ居リマス、此度此道廳府縣ノ管轄以外ト云フ標準ハ……

○伯爵吉井幸藏君 管轄以外云々ト云フ御尋デゴザイマスガ、其沖ノ方ハド

レ程マデニナリマスカ陸カラ幾里マデガ地方官ノ管轄ニナリマスカ、ソレハ

公法上ノ三里デイキマスルカ或ハ斯ウ云フモノニ附イテハ他ニ規定ガゴザイ

マスルカ、ソレハ本員ハ存ジマセヌデゴザイマス、又委員會ニ於キマシテモ

其コトハ質問モゴザイマセズ取調ヲ致シマセヌデゴザイマシタ

○籠手田安定君 往々喧嘩ノゴザイマスルノハ全クソコデゴザイマス、ソレ

デ網ヲ曳クトカ云フ争ハチヤント分ツテ居リマスガ……

○伯爵吉井幸藏君 ソレハ政府委員ニ御尋下サルヤウニ願ヒマス

○政府委員(牧朴眞君) 唯今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上グマス、地方ノ管轄區域ニ於キマシテハ別ニ勅令ヲ以テ定メラレテソレデ決定致シマス積デゴザイマス、其管轄ニ依ラテ此第三條ノ漁場ノ區域ハソレド處置致シマスル積

○籠手田安定君 チヨト私ハ耳ガ遠ウテ能ク分リマセヌガ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 篠手田君暫ク御待チ下サイ船越男爵ニ發言ヲ……

○籠手田安定君 勅令デ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 篠手田ノ發言ヲ差止メマス、既ニ船越男爵ニ發言ヲ許シマシタカラ……

○男爵船越衛君 質問ガアリマス、政府委員ニ質問致シマス、甚ダ迂遠ナヤウデゴザイマスガ第一條ノ公有水面ト云フノハドウ云フ場所ヲ指シマスカ、又此法案ハ漁業ヲ爲ス漁獵ヲ業トシタルモノノミニ開スル法案デアルヤウダガ或ハ是ハ漁獵ヲ業トシナイ者ヘハマルデ及ボサナイトイ云フ積デアリマスカ、此二ツ、且ツ第八條ノ堰堤水閘水車其ノ他ノ建設物ヲ設置シテ魚類ノ通路ヲ妨碍スルト認メルトキハ行政廳ハ建設物云々此條ニ於テ質問ガアル、或ハ一ツノ川ガアツテ因畑ヘ水ヲ灌グト云フコトガアル、其時ニハマルデ川ヲ堰止メル、堰止メテ其水ヲ田ヘ導イテ澤山ノ田地ノ灌漑ニスルコトガアル、ドウ云フ御主意デゴザイマスルカ、先づ右ノ三箇條ヲ一應質問致シマス

(政府委員牧朴眞君演壇ニ登ル)

○政府委員(牧朴眞君) 唯今ノ御質問ニ御答申シマスルガ、第一ノ公有水面ト云フコトハ如何ナルモノデアルカト云フ御質問デアタト思ヒマスルガ、是ハ全く所謂私有ノ反對デゴザイマシテ私有ニアラザルモノヲ總テ公有トシマスルノデ、或ハ私有中ニ於テモ或ハ川成トカ海成トカ云フマデモ矢張私有ニ属シテ居リマスルカラサウ云フモノハ私有、其他私有面ニ於テ漁業ヲシマスル者ノ外總テ公有ニ含ミマスル積デゴザイマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ少シ分リ兼ネマシタガ跡デ申上グマスガ、第八條ノ堰堤、水閘、水車其他ノ建設物ガ魚道……魚類ノ通路ヲ妨碍スルコトニ附イテノ御尋ト思ヒマスガ是ハ成程堰环ヲ設ケマシテ水門环ヲ設ケマシテ田地ニ水ヲ引クコトモゴザイマス、併シ此法律ノ主意デハ魚道ノ設置……魚ノ通路口ヲ設ケルノガ眼目デゴザイマスカラ魚ノ通路ノ出来ルダケニ路ヲ造ラセルノデゴザイマスカラ決シテ之ガタメニ水門ヲ廣ウセシメルト云フコトハアリスマイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ニ御尋ニナリマシタコトハ遠方デ聽取リ兼ネマシタカラ甚ダ失禮デアリマスルガ今一應御尋ヲ願ヒタイ

○男爵船越衛君 唯今ドコノ御尋デゴザイマスカ

○政府委員(牧朴眞君) 八條ノコトヲ御答ヲ申上グマシタガ第二ノ漁業ノ何トカ……

○男爵船越衛君 漁業ヲ業トシテ居ル者ノ外ハマア私如キデモ漁ニ行クコトハ往々アル、ソレハ矢張是ハ守ラニヤアナリマセヌカ、或ハ隨分慰ミニ色ナコトヲスルコトモアリマスガ矢張之ニ準據スルノデアリマスカ、サウ云フモノハ之ニ據ラナクテハ出來ヌノデアリマスカ、慰ミニスルヤウナコト

○政府委員(牧朴眞君) 分リマシタ、申上グマス、此漁業法ノ第一條ニ於キマシテ所謂「漁具ヲ定置シ又ハ場所ヲ區畫シテ漁業ヲ爲ス者」ニ免許ヲ與ヘルト云フノ條デゴザイマス、其他或ハ遊漁ヲシマスルガ如キモノハ此第一條ニ含蓄シテ居リマセヌノデゴザイマス、併シ遊漁其他瑣細ナ漁獵ヲシマスル者ハ第一條ノ中デ免許ヲ受ケマスル者デハゴザイマセヌカラ全ク遊漁ヲスルニ附キマシテハ此法律ノ範圍内デゴザイマス、併ナガラ唯今申上グマスル如クニ蕃殖保護ニ害ガゴザイマスルカ或ハ毒流シヲスルトカ或ハ禁漁場ヲ犯スト云フ如キ者ハ此法律ヲ以テ制裁ヲ致シマスル積デゴザイマス

○男爵船越衛君 モウ一ツ伺ヒマス、此八條ニ附イテ御答ガゴザイマシタガ實際上極無理ニナリハシナイカト思フ、是ハ御承知デゴザンセウガ川ヲ堰切シテ田地ニ水ヲ灌グト云フコトハ幾ラモアリマス、船ヲ通シハセヌ、其間ソレデ魚ノ少々ノ獲物ガアツテ當人ガ儲ケルヨリハ田地ヘ灌漑スルコトガ頗ル必要ヲ生ズルコトガ澤山ニ多イ、然ルニ魚ノ通行ノタメニ其堰环ヲ除カレテ魚ダケ通ス、又魚ダケ通ス、又田面ヲ涸渴ニ及ボスト云フコトハ決シテアリマスマイト認メテ居リマスノデゴザイマス

○男爵船越衛君 餘リ議論ノヤウニナリマスノデゴザイマス

○男爵船越衛君 違ルマイト仰シヤルガ魚ノ通ルダケノ間明ケルト云フト、ズット道ガ通ルダケカラ差支アリマス

○男爵船越衛君 違ルカヲ灌漑用水ハ用ニハナラナイ、是ハ餘程ムヅカシイ話デ、マア此邊ニ止メテ置キマセウ、是ハ餘程重大ナコトデアリマス

○籠手田安定君 私ノ質問中ニ御止メニナリマシタガ、モウ少シ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 宜シウゴザイマス

○籠手田安定君 政府委員ニ御尋致シマスガ、ヒツコク御尋ヲスルノハ甚ダ根性ノ惡イヤウデアリマスガ是ハ私非常ニ苦ンダコトガアリマス、一ツ證據ヲ以テ御話ヲシマセウ、出雲國三保關ノ者が伯耆ノ緣故ノナイ所ニ突出シテ來テ漁業ヲ爭フタ(聽取シ難シ)其區域が甚ダ分ラナイ、又越後ニ参リマスルト越後同士デ此郡ト甲乙争ニナル所ガアル、海面ノ遠方ノ方ハ其郡ニ屬シテ居ルカドウカ分ラヌ、唯今御尋申シ上ゲルノハ海ノ區域ハドレダケカ、出雲國ナラ出雲國、越後ノ國ナラバ越後ノ國、能登ナラバ能登ニ屬シテ居ルト云フ所ガ如ゾ其標準ガアツテ此區域ト云フモノヲ御極メニナシタモノカ例ヘバ一里トカ二里トカ或ハ鐵砲ノ彈ノ居ク所トカ何トカ標準ガアツテ此區域ノ内外ト云フコトヲ定メラレタノデアリマスカ、此區域ノ内外ガ判然

セヌ所カラ御互ニ争フノデ各府縣ノ争フ見マスルニ皆サウ云アヤウデゴザイマス、是ガ餘程漁業者ノ争フト云フ點ニナタテ居ルノデゴザイマス、此區域ノ内外ト云フコトガ甚ダ面倒デ其時關係地方官ガ争フ決スルト云フコトハ甚ダ困難ア出来ヌ、私島根縣ニ居ルトキ鳥取縣ト争ウタトキニハ大變此伯耆ノ方ニ

緣故モ何ニモナイ三保ノ關ノコトナ方ニ來テ争ウテ居ルト云フヤウナ譯デ区域ノ内外ト云フコトガ甚ダ面倒デ其時關係地方官ガ争フ決スルト云フコトハ甚ダ困難ア出来ヌ、私島根縣ニ居ルトキ鳥取縣ト争ウテ政府カラ調査ニ出テ來テモ此爭ガ容易ニ決セラレヌ、此區域ノ内外ト云フコトヲ何ニ依テ定メラレルト云フ是ガ政府ノ御目的ヲ確ニ承ツテゴザイマセヌトヨリ漁業法案ガ出タカラハ此爭ノ起ラヌヤウニセンナラヌ、ソレデ此區域ノ内外ト云フコトガ何ヲ以テ標準トスルト云フコトガ確カリ定ツテ居リマセヌト相變ラズ喧嘩ヲスル、是ニハ私モ懲リ果テタコトデゴザイマスカラ黙止スル譯ニ行カヌ

テ一應伺クテ置キマス

○政府委員(牧朴眞君) 此漁業法ガ協賛ヲ得マシテ發布ニナリマスレバ地方行政管轄ノ區域ヲ定メルコトニ於キマシテハ勅令ヲ以テ發布セラレマス積リ

テゴザイマス、ソコデ勅令ニ依クテ是ハドコ縣ニ屬スル、是カラ是ハドコ縣ニ屬スルト云フコトヲ明ニ勅令ヲ發布サレテ地方行政ノ管轄區域ト云フモノハ定メマスル積デアリマス、今日マデニ成程此漁場ノ競争ガ度々出來マシテ

兔角地方行政ノ管轄區域ニ依クテ頗ル紛議ガゴザイマスルノデ唯島根縣鳥取縣ノミデハゴザイマセヌ、各地方兩縣ノ争ノ起ル所ハ多ク此行政管轄區域ニ

基イテ居ルノデゴザイマスカラ此漁業法ヲ發布セラレマスレバ勅令ヲ以テ地方行政管轄ノ區域ヲ定メルコトヲ發布セラレマスル皆デアリマスル、ソレデ兩縣ニ跨クテ居ル争ヒデアリマスレバ兩縣知事ガ之ヲ決定致シマシテ尙ホ協議調ハザルトキハ主務大臣ガ之ヲ決定スルト云フコトニナルノデアリマス、

即チ御尋ネノ如キ御心配ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メマスル皆デゴザイマス

○周布公平君 本員モ卿カ政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、唯今政府委員ハ籠手田君ニ答ヘラレテ水面ノ管轄區域ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メルト言ハレ

マスルガ是ガ勅令ヲ定メベキモノデアルト云フコトノ根據ヲ伺ヒタイノデアリマス、本員ノ考フル所デハ此水面ノ管轄區域ト云フモノハ餘程重大ナモノ

デアラテ左右へ管轄ノ區域ヲ極メマスルノハ左程デモアリマスマイガ此沖合ニ向クテデス、何里沖マデガ何縣ノ管轄ト云フヤウナコトヲ極メマスルノハ餘程是ハ重大ナコトデアラウト思フノデアリマス、即チ此萬國公法ニモ關係ヲ持ツ所ノ事柄ニアラテ容易ニ是ハ勅令ヲ極メラレヌコトデアラウカト思ヒマス、此陸地ニアリマスレバ府縣郡ナドノ境界ヲ定メマスルニモ法律ヲ以テ定ムルト云フコトニ相成テ居リマスル、ソレデ水面ノコトニ於キマシテハ境界ヲ定ムルコトニ附イテ何等ノ法律ハアリマセヌケレドモ之ヲ單ニ其勅令ヲ以テ定メラレルト御認メニカクテ居ル所ノ根據ト云フモノハドコニアリマセウカ、此漁業法案中ニ或ハワレ等ノコトハ勅令ヲ以テ定ムルト云フコトヲ掲ゲテ置キマシテサウシテ勅令ニ譲リマシタナラバ或ハ宜カラウカト思ヒマスアルガワレスラモナカク重大ナコトデ容易ニ意見ガ定マラヌノデアリマスソレデ勅令ヲ以テ水面ノ各府縣ニ屬スル所ノ境界ヲ定ムルト云フコトノ根據ハ如何ナル御調ベデ出テ居ルカト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(牧朴眞君) 少シク御意見ノヤウニ思ヒマスガ唯地方ノ行政管轄ノ區域ヲ定メマスルコトデゴザイマスカラ、水面ノ管轄區域ヲ定メマスルコトデゴザイマスカラ勅令ヲ以テ差支アルマイトスウ認メテ居ルノミノコトデ

ゴザイマス、其以上ハドウカ十分ニ御研究ヲ願ヒタ

○周布公平君 矢張此沖合何里ト云フ所ノ方ノ境界モ御定メニナルノデアリマスカ

ル三里以内トカ云フヤウナコトデゴザイマセウガ其コトニ附キマシテハ更ニ研究ヲシマスル積デゴザイマス

○男爵船越衛君 第九條ニ「水產動植物ニ有害ナル物質ヲ還棄シ其ノ蕃殖ヲ妨害スルト認ムルトキハ行政廳ハ之ヲ禁止若ハ制限シ」云々トゴザイマスノハ是ハ無論漁業法ノコトデゴザイマスカラ水產動植物ノミデ別ニ外ノ植物ニ

ハ無論是ハ關係ハナインデアリマスカ

○政府委員(牧朴眞君) 是ハ全ク水產動植物ダケデ外ノ植物ニハ關係ハゴザイマセヌ

○男爵船越衛君 フレデ御尋ネスルノダガ隨分其鑽毒デ魚ヲ滅ラスト云フコトガ往々アル、現ニ足尾銅山ナドニ附イテハ色々論モゴザイマスガ是ハマニアリスル者ガ縱令聊カデモ我ガ業ノ損失ニナルカラ苦情ヲ言フ、其時ニテモ矢張此別トシテ例ヘバニ、ニ小サイ川ガアル、僅カ魚ガ取レル、然ルニ誠ニ良イ鑽山ガアツテ大層國益ヲ爲スト、斯ウ云フコトガアル、然ルニ水產業ヲシテ居

第九條テ鑽山ヲ業トスル者ニ聊カノ魚ノタメニデモ費用ハドレダケ入カテモ此妨害ヲ防ガズ、或ハ之ヲ禁止スルト云フ精神デアリマスカ、ソレデ此水產ノ唯一事ヲ以テ論ズリヤー或ハ至當カモ知レナイガ……是ハ意見デハナイン質問

デゴザイマスガ農商務大臣カラ殖產興業鑽山等ノ發達、國益ヲ計ルト云フ上カラ見ルト云フト少シデモ魚類ニ害ガアルト鑽山ヲ停止スルトカ何トカ云フ

トガ出來ルヤウニ思ヒマスガ其御精神デアリマスカ

○政府委員(牧朴眞君) 御答致シマス、唯今御質問ノ如キハ全ク事實ノ問題ニ屬スルコト、思ヒマスガ是ハ全ク水產動植物ノ繁殖ニ妨害アリトスウ認メ

マシタトキニ……或ハ石灰ヲ流ストカ蠣灰ヲ流ストカ繁殖ニ妨害アリトスウ政府デ認メマシタトキハ即チ其毒物ニ對シテ制限ヲシ若クバ除害ノ方法ヲ設ケシメルト云フコトデゴザイマシテ、是ガアルカラ少シデモ害ガアレバ棄却

ヲ命ズルトカ或ハ禁止ヲ命ズルトカ云フ如キハ實地ノ問題ニ屬スルコトデアリマスガ此趣意デハ繁殖ニ妨害ガアリ差支アリトスウ政府デ十分認メタトキニ始メテ禁止制限シマスル積リテアリマス、ドウカ其邊テ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

ウデアリマスカ

○政府委員(牧朴眞君) 私モ政府委員ニ質問ガアリマス、籠手田君其他周布君ヨリ質問

ガアリマシタガ私モ實ハ其憂ヲ同シクスルノデアリマス、周布君カラノ御尋

トハ悉ク勅令ヲ以テ定ムル積リテアリマス

ネ中ニ勅令ニ附イテノ此區域ニ定メラレル根據ハドウカアルカト云フ御尋ニ

ニ政府委員ノ御答ニ研究ガナシデアラヤウナ御答ニアラタト思ヒマスガサ

ウデアリマスカ

○政府委員(牧朴眞君) ソレハ例ノ三海里以内ト云フコトダケデアリマスア

トハ悉ク勅令ヲ以テ定ムル積リテアリマス

ノ御答ニハ其邊ノ御研究ガナシヤウナ御答ニアラタト思ヒマスガ……區域ヲ

定メルトカ管轄ヲ定メルトカ云フコトハ……

○政府委員(牧朴眞君) 勅令ヲ以テ定メマス

○關義臣君 勅令デ定ムルノハ容易ナラヌコトダラウト思ヒマス
○政府委員(牧朴眞君) 政府デハ勅令ヲ以テ定ムル積リデ居リマス、地方行
政ノ管轄區域ヲ定ムルノデアルカラ勅令デ宣カラウト認メテ居リマス
○關義臣君 併ナガラ周布君ノ言ハレマシタ陸ノ方カラ海ニ出ルノハ宜イガ
海面ノ區域ハトウ御定メニナルノデアリマスカ
○○政府委員(牧朴眞君) 研究中ダト仰シヤッタノデアリマスカ

○關義臣君 御分リニナツテハ居リマセウガ私モ二三縣地方官ヲシマシタガ
今籠手田君ノ御話ノアリマシタ私ガ島取縣ノ長官シテ居ラタ時分ニ島根トノ
争ガアリマシテ隱岐ト島根トノ争ヒガ、エライ争ヒデアリマシタ一方ハ十里
ダヤト云ヒ一方ハ十五里ダヤト云ヒ、ヒドイ争ヒヲシマシタ、又徳島縣ニ居
リマシタ時分、周布君ガ兵庫縣知事デ居ラレタキ其時ニ喧嘩ハエライコト
デアリマシタ全體淡路島ト徳島トノ間ハ三里ダカラ真中トスレバ一里半デ宜
シイ譯デアルガ一方ハ二里半ダト云ヒ一方ハ二里ダト云ヒ非常ノ喧嘩ガアリ
マシタ其邊ノ管轄ノコトハ餘程、研究中ナラ御注意ラ申シマスガ各縣其争ノ
ナイ所ハナイノデアリマスカラ餘程ケンノント思ヒマスルガ、トウゾ十分ノ
御注意ヲ願ヒマス

○男爵尾崎三良君 政府委員ニ質問致シタイ、此第三條ニ「前條ノ款項ニ付
争アルトキハ關係漁業者ノ請求ニ因リ地方長官之ヲ決定ス」トアリマスガ若
シ此決定ニ不服ナトキハ行政裁判所ヘ出ラレルノデアリマスカ、行政裁判所
ハ列記法ニナツテ居ラテ此漁業ノ争ノコトニ附イテノコトハ、チヨウト覺ヘ
マセヌガ、ナカツタト恩ヒマスガ若シナイト見ルト長官ハ勝手次第ニ極メテ
ドコヘモ訴ヘルコトハ出來マセヌヤウニナリハシマセヌカ、地方長官ハ神聖
犯スベカラザル人デ間違モナカラウガ其邊ハドウ云フ積リデアリマスカ、其
次ノ一項モ矢張主務大臣デ決シテ外ヘ訴ヘルコトハ出來ヌノデアリマスカ、
其邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員(藤田四郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(藤田四郎君) 唯今尾崎男爵ノ御尋ガアリマシタガ先刻政府委員
カラ申シマシタコトニ附イテ尙ホ趣意ガ十分御了解下サイマセヌヤウデアリ
マスカラ其事柄モ併セテ申上ゲヤウト思ヒマス、海面ノ區域ヲ勅令命令デ定
ムルニ附イテハ是ハ今日ニ於キマシテモ命令即チ内務大臣ノ命令ヲ以テ極メ
テ居リマス、土地ノ上ノ管轄ニ附キマシテハ唯今御話ノアリマシタ通法律ニ
依フテソレハ規定ガアリマスルガ水面ノコトニ附イテハ何等ノ成文ハゴザイ
マセヌ、唯今日法律デ認メテ居リマス所ハ總テノ海面ハ官有デアルト云フコ
トハ見テ居リマス、從フテ其管轄ノ區域モ主務省ニ於テ命令シテ極メ得ラレ
ノデゴザイマス、併ナガラ今日漁業法ヲ制定致シマスル場合ニ於キマシテハ
各府縣ノ管轄區域ヲ明ニスル場合ハ屢々必要ガ起リマス即チ其取締規則ト云
フモノガ關係府縣ニ於キマシテ同一ノ目的ニ出テ居レバ宜シイガ目的ハ同じ
デモ事實ニ於テ抵觸スルコトガ起リマスヌメニ種々困難ガ起リマス、差向ノ
海面ヲ隔テ、居ル兩縣ニ於キマシテノ取締規則ノ異同ノタメニ、年來慣行ノ
違ツタタメニ、規則ガ達ラテ居ルノデ衝突ヲ來タス場合ガ屢々アルノデアリマス
ガ此法律ニ據テ始メテ其決定スル途ガ著キマスノデアリマスサウナル場合
ニ先づ其海面ノ取締區域ハ何レニ屬スルカラ決定スルノガ第一ニ必要ニナ
リマス、ソレニ依フテ法律モ行ハレルノデアリマス、是マデモ多クハ其方針ヲ

○磯邊包義君 政府委員ニ質問致シマス、唯今段々御質問ガゴザイマシテ御
答デゴザイマシタガ此海面ニ於キマシテノ區域ヲ定メルコトニ附イテハ勅令
ヲ以テ定メルツモリデアル何レ其勅令ハマダ研究中デアルト云フコトデゴザ
イマスガ研究中デアレバ研究中ト致シテ置キマシテ今又政府委員ノ御答辯ニ
ハ三海里、從前ノ規則ニ依フテ公法ニ依フテ三海里以外ハ出來ナイト云フ斯
ウ云フ御答ノヤウデゴザイマスガ矢張今日ニ至リマシテモ三海里ヨリハ此法
律ガ及ビマセヌノデゴザイマスカ、且ソ又海面ニ於キマシテハ極ク遠イトコ
ロマデ定メヤウト云フテモ定メヤウガナイニ相違ナイト本員ハ考ヘル、海圖
ノ上ニ朱線ナラ朱線ヲ引きマレテ此鼻ヨリ西ナラ西、東ナラ東ト定メテ置キ

以テシテ居リマスガ併ナガラ漁業ノ争ニ附キマシテノ決定ノ場所ハ農商務省
ト云フコトデアリマスガ未だ何等ノ法律モゴザイマセヌ、先刻籠手田君ヨリ
御話ガアリマシタ即チ島根鳥取ノコトニ於キマシテモ農商務省デ裁定ハ表面
シテ居リマスガ即チ法律ナクテシテ居ルノデアリマスカラ示談ノ上デ裁定レ
タト云フ姿デアリマス、此法律ヲ行ヒマスニ附キマシテハ尙ホ種々他ノソレ
ソレ行政ノ上デ即チ命令デ、勅令デ定メマシテ其勅令ニ依リマシテソレヲ極メテ參リマ
スノテ總テ全國到ル所ノ海面ヲ極メルノデハゴザイマセヌ、又外洋ニ向ヒマ
レテ日本ノ領海ノ區域ノ幾何ト云フコトハ先刻水產局長カラ申上マシテゴザ
イマスガ是ハ各國、萬國ノ例規ニ於キマシテモ段々議論ノゴザイマスコトデ、
先ヅ三海里ト云フコトハ即チ彈丸ノ居クト云フ所ノ一定ノ議論デゴザイマス
ガ近今其領海ノ區域ヲ抑開キ或ハ條約ヲ結アト云フコトニナツテ居リマスカ
ラ此外洋ニ向カテノコトヲ極メルト云フコトハ能ク研究シテ其問題ニ
依フテ致スヨリ外ニ致方ハナイト思ヒマス、併ナガラ今日ノ公法ノ成立テ居
ル以上ハ固ヨリ此三海里ト云フモノヲ法則ト見ルヨリ外ニ仕方ガナイ、ソレ
カラレテ此決定致シマシタモノニ附イテ尾崎男爵カラ御尋ネゴザイマシタ
ガ是ハ行政裁判所ノ方ヘ總テ持フテ行キ得ラレルヤウニ第五條デ規定シテゴ
ザイマス

○男爵船越衛君 チヨウト御尋ネシタイ、第九條デ御尋ネヲシテ(聽取レ難
シ)ア、云フモノヲ棄タカラ魚ガ少ナクナルトカスウ云フ鑽物ヲ捨タカラ魚
ガ減シルト云フ苦情ガ多クナル、愈々是ヲヤル場合ニハ十分ノ調査ヲナサレ
ルテアラウガ必ズシモソレデナクテモ魚ガ減ズルノダカラ……ソコデ此法律
ヲ出スト云フト喧嘩ノ種ヲ時クヤウナコトニナル、魚ガ減ルノハイヤア、云
フコトダカラ減ルスウ云フコトガ必ズ起ラウト思フ、起レバ裁判ニモナラ
ウ、好シデスル奴モアル、スルト隨分敷喫シテサスヤウナコトニナル、ソレ
デドウモ折角保護ノ法ヲ立テラレルノデアリマスカラ餘程能ク一般ヲ御見
渡シニナツテナサラスト云フト害ガ以外ニアラウト思ヒマス、此邊ハドウ云
フ御考デアリマスカ、是モ一ツ伺ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲシマス、鑽業ノ場合ニ附イテノ御話デゴザ
イマスレバ鑽業條例ニ於キマシテモ衛生其他殖產等ニ對シテ總テ害ノアルコ
トハ出來ナイトコトニナツテ居リマスルノデゴザンスルガ尙ホ此保護ノタメニ
斯ウ云フコトノ規定ヲ設クルハ無論必要デゴザンシテは申スマデモゴザイ
マセヌ、是マデ、モ此方針ニ依フテ取締規則即チ地方ノ規則ト云フモノガ出來
テ居リマス、即チ其根本ノ規則ヲ茲ニ定ムルノデ各外國ノ例モ皆是ハ載テ居
リマス

マシテモ現況ニ依リテハ或ハ山ナドガアルヲ分ラヌヤウナコトガアル、遠イトコロハ定メ惡イト思ヒマスガ三海里ト云フコトハ最早今日ハ古イ公法論デハゴザイマセスカ、且ツ又勅令ノ研究中デアツテ此勅令ノ研究ガ濟マナケレバ其間此案ハ本議場ニ於テ決議シテモ發令ニハナリマセスノデアリマセウカ、其邊ヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマスガ勅令ヲ出シマスルニ附キマシテノ事柄ハ研究中デハゴザイマセス、モウ既ニ調べハ出來テ居リマスノデゴザイマス、唯外國ニ向ヒマシテノ即チ外洋、外海ニ向テノコトハ成ルタケ此海ヲ廣ゲルト云フコトハ今日ノ意向デゴザイマスカラ、世界ノ意向デゴザイマスカラワレ等ニ附キマシテハ尙ホ研究ヲ盡サヌケレバナラスト云フコトヲ前ニ水產局長カラ申シマシタ、固ヨリ是ハ外海ニ向テノコトニ附キマシテハ此漁業法ノ取締ノ及ブモノモゴザンシシ及バヌモノモアリマス、ソレハ其物自身ニ依リテ決定セラル、モノデゴザイマス

○子爵高野宗順君 チヨダト私ハ委員長ニ確メテ置キタイ、今御報告ニナッタヤウニチヨダト承リマシタケレドモ少シ聞キ漏シマシタガ此漁業法案ノ修正ノ御報告ノ第十六條ソレカラ第十八條第十九條此三條ニハ悉ク何圓以上何圓以下ノ過料或ハ罰金ト云フコトガゴザイマスガ此十七條ニハ原案ノマ、デ五十圓以下ト書イテアルヤウデアリマスガ定メテ是ハ五圓トカ云フ字ガ加ハルトカ、何圓ト云フコトガ加ルト云フ御報告ガアツタヤウデアルガ免モ角モ此修正ノ御報告ノ中ニハ印刷ガゴザイマセスガ其邊ハドンナ都合デゴザイマスカ念ノタメニ同ツテ置キタウゴザイマス

○伯爵吉井幸藏君 是ハ印刷ガ落チテ居リマスデゴザイマス
○子爵高野宗順君 サウシマスト矢張十七條ニモ五圓以上五十圓以下ト云フコトニナルノデゴザイマスカ

○伯爵吉井幸藏君 左様デゴザイマス
○子爵高野宗順君 ハア、サウデスカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 大抵質問モ盡キタヤウデアリマスカラ二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス
○村田保君 段々議會モ切迫シテ居リマスルシ是ハ又衆議院ノ方ヘモ回リマスカラドウゾ議事日程ヲ變更サレテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望シマス

○子爵小笠原壽長君 賛成
(賛成ト呼フ者アリ)

起立者
多數

○男爵船越衛君 本案ハ隨分大切ナ案デ農工商ニ餘程關係ヲ及ボシマスコトデ餘程是ハ思案セヌケレバナラヌト思ヒマス、無論議會モ切迫ニナツテ居リマスケレドモドレ程切迫デモコンシナ人民、農民ニ關係スルヤウナコトハドウカ期日ヲ與ヘテ議スルガ至當ノコト、思ヒマスカラ是ハ成規ノ通ニ議事日程ニ載セラレントコトヲ希望致シマス

○周布公平君 賛成
○議長(公爵近衛篤齊君) 賛成ト仰シヤルノハドチラニ賛成デアリマスカ

○西村亮吉君 成規通期日ヲ置イテ更ニ第二讀會ヲ開カレルコトニ賛成シマス
○周布公平君 本員モ船越男爵ニ賛成ヲ致シマス、成規ノ通置キマシテモマダ餘日ハ多少ゴザイマスカラ差支アルマイト思ヒマス、願クハ一兩日熟考ノ猶豫ヲ置カレタイト思ヒマス

○石井省一郎君 船越君ニ賛成
○議長(公爵近衛篤齊君) 船越男爵ノ御說ハ動議トセズトモ、其通決スレバ當リ前ノコトデアリマスガ、今村田君カラ動議ガ出マシタカラ是ニ附イテ決ヲ採リマス、段々賛成ガゴザイマシタカラ採ヲ採リマス、村田君ノハ直チニ二會讀ヲ開クト云フノデアリマスガ之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 少數ト認メマス、登記法中特許意匠及商標ノ登記ニ關スル規定廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告
起立者 少數

○議長(公爵近衛篤齊君) 少數ト認メマス、登記法中特許意匠及商標ノ登記ニ關スル規定廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告
(伯爵德川達孝君演壇ニ登ル)
○伯爵德川達孝君 此案ノ特別委員會ニ於ケル經過及結果ヲ御報道ニ又ビマス、委員會ニ於キマシテハ一昨二十一日ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ直ニ會議ヲ開キマシタ、抑、此法律案ハ此理由書ニゴザイマスル通ノ次第デシタガ別段議論モゴザイマセヌデ原案ノ如ク可決相成リマシタ次第デゴザイマス此案ハ誠ニ簡単ナ案デモゴザイマスルカラシマシテ讀會省略ヲ以チマシテ直チニ可決アランコトヲ希望致シマス此段御報告致シマス

○子爵板倉勝達君 賛成
(其他賛成ト呼フ者アリ)

起立者
多數

○伯爵坊城俊章君 賛成
(其他賛成ト呼フ者アリ)

起立者
多數

○議長(公爵近衛篤齊君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略致シマシタ(左ノ議案ハ期讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
明治十九年法律第一號登記法中特許意匠及商標ノ登記ニ關スル規定ハ特許法意匠法及商標法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 次ニ本案可決ト認メテ御異議ハアリマセスカ
(異議ナシト呼フ者アリ)
然ラバ決シマシタ、實業教育費國庫補助法中改正法律案、衆議院提出、第一

釋シタ方ガ一番宜カラウカト考ヘマス、是ニハドンナ物ガ這入ヲ來ルト云フコトヘ分リマセヌ故ニ肥料用品ト云フ字ガ這入ヲタモノト斯ウ認メマシタ方ガ一番分リガ宣カラウカト思フ、然ラザルトキニハ肥料其他ト申ス肥料ノ上ニ人造肥料トカ製造肥料トカ云フヤウナ文字デモナケレバ少シ解釋ニ苦ミマスカラ唯今申上ゲタ位ノ所デ解釋シタ方ガ宣シカラウト思ヒマスガ矢張政府委員モ其ヤウナ文字ノ御解釋カモ知レマセヌカラモウ一言御尋致シマス○政府委員(男爵田尻稻次郎君)此コトハ總テト云フコトデ肥料ニナクタモノト云フ積ノ解釋テ衆議院ハアフタト恩ヒマスルガ併シ解釋ハ銘々ノコトデアリマスカラコチラデ此ノ如キ御解釋ヲ取ラレルト云フコトハ是ハ自由ナ譯デアリマセウ、衆議院ノ案デハ既ニ出來メ肥料ト云フ積ノヤウニ聽取ッテ居リマンタデゴザイマス○議長(公爵近衛篤麿君)他ニ御質問モナクバ委員選定ニ移リマス○男爵中川與長君 本案特別委員ハ過日選定ニナリマシタ明治三十年法律第十四號關稅定率法中改正法律案ノ特別委員ト同一委員ニ御託シニナリタイ(賛成ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 中川男爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ(異議ナシト呼フ者アリ)○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバ直ダニ決定シマス、種牡馬検査法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

(小原書記官朗讀)

右本院提出案及送付候也
明治三十二年二月二十一日

衆議院議長片岡健吉

貴族院讀長公爵近衛篤麿殿

明治三十年法律第十二號種牡馬検査法中左ノ通改正ス

第一條中「此ノ法律ニ依リ」ノ下「毎年」ノ二字ヲ加フ

第三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但地方ノ狀況ニ依リ此ノ年限ニ依ラサルコトヲ得

第八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第九條 北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニ因リ農商務大臣ハ當分ノ内島嶼ニ限リ此ノ法律ヲ施行セサルコトヲ得

○議長(公爵近衛篤麿君) 別段御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵生駒忠君 此委員ハ議長ニ御依託致シマス
(賛成ト呼フ者アリ)
○議長(公爵近衛篤麿君) 生駒男爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 然ラバソレニ決シマス、特別年限地租増徵ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(高島信茂君演壇ニ登ル)

○(高島信茂君) 特別年限地租増徵ニ係リマス法律案ニ對シマシテノ委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、此事柄ハ頗ル重大ナル問題デゴザイマスルガ事理ニ於キマシテハ最モ明瞭ナルモノデゴザイマシテ僅ニ一度ノ委員會ニ於キマシテ大多數即チ一人ノ反對者アルノミズ原案ニ決シマシタコトデゴザイマス、此要領ヲ報道致シマスニ先チマシテ此問題ニ對シテ可否ノ如何ヨリ關係ヲ來シマスルコトヲ先キニ申述ベ置キマスルコトガ諸君ノ御参考ニ御便宜トシマシタ所ノ要領ナルモノハ格別入込ミマシタ討論モゴザイマセズ容易ニ原案ニ可決致シマシタコトデゴザイマスカラ敢テ込入クテ御報告ヲ致シマスル程ノコトモゴザイマセヌが唯其要領ヲ申述べマスレバ彼ノ地租増徵ナルモノハ國費ノ不足ヲ補ヒマスケニ已ムヲ得ザルノ年限ヲ切ラレマシタカラ增徵デ地方稅ノ過不及如何ニハ一切關係ヲ致シマセヌモノヲソレニモ拘ラズ此法律ノ結果ガ地租ニ及ブト申スル如キ無味濫泊ナル解釋ヲ以テ地方ニ此ノ如キ六百幾十万圓ト申スル如キ大金ヲ增徵致スベキ理由ナキコトハ明瞭ナルコトト信ジマスガ、其理由ナルモノハ特別年限地租増徵ト云フ此文字ノ中テ既ニ地方ニ及ブベカラザルノ理由ハ十分ニ含マレ居リマスルコト、モ考ヘラルハコトデ且ツ又畢竟スルニ此地租増徵ナルモノハ全ク曖昧姑息ト申シテモ宜シカルベキモノデ此曖昧姑息トシテ地租ニ移シマス時分ニハ年限ガ來リマシタ際ニハ殆ド舊ニ復シマスルノデアラテ言フバカラザルノ不都合ヲ來スコト、信シマスルコトデゴザイマス又府縣制ヲ實施致シ居リマスル所ノ各府縣ニ於キマシテハ時勢已ムヲ得ザル事情アルニ於キマシテハ内務大藏兩大臣ニ其情ヲ具申致シマスレバ、特別ニ賦課スル道モアイテ居リマスル、旁ニ決シテ此ノ如キ増徵ヲ致スペカラザルモノト一糾ノ疑モナク原案ニ可決致シマシタルコトデゴザイマス、併ナガラ赤太府縣制ヲ實施致シ居リマスル所ノ地方、現ニ東京府ニ於キマシテハ地價修正ノ結果ヨリシテ三万圓ノ不足ヲ告グルガ如キコトト相成リマシタ、諸君ノ御承知ノ如ク地方財政ノ元ハ一ハ地租ニ依リ、一ハ戸別稅ニ依ルベキコトデコレハ尤モ地方ノ財政ノ根元トモ申スベキモノト承リマシタガ然ルニ府縣制ヲ實施致シ居リマセヌ所ノ各府縣ニ附キマシテハ土木費ノ外ニハ如何ナル事情ガアラテモ其筋ヘ具申シテ別段ニ賦課シ得ルノ道ハイテ居リマセヌ、且ツ又東京府ニアクテ、郡部ニ對スル戸數割ニ於キマシテ平均既ニ一圓三錢ノ高度ニモ達シ居リマスルコト故、此上格別ノ賦課モ出来兼マスルコト、存ジマス、然ル以上ニ附イテハ此三万圓ヲ補ヒマスルニハ殆ド困難至極ノコトカト察セラレマス、且ツ又地租修正ノ結果ハ斯ノ如キ不足ヲ生ズルノミナラズ果シテ地價修正ガ結了致シマシタル際ニハ一旦徵收致シタル所ノ附加稅モ頗ル復雜ナル所ノ手順ヲ經テ割戻シ致サナクテハナラヌ結果ヲ致シマス、且ツ又既ニ取極メタル所ノ稅額ニ對シテ彼ノ三万圓不足ヲ生ジマスル所ノ不都合ヨリシテハ更ニ彼はノ會議ヲ開ヒテ之ヲ結了致サンケレバナラズ、彼是以テ不足ヲ告ゲタル上ニ尙ホ幾千ノ入費ヲ要スルガ如キ場合ニ相成リマシテ平タク申セバ如何ニモ氣ノ毒千万ナルコト、感ジマシテ種種ノ考案ヲ凝シマシテ果シテ然ルナラバ何トカ修正モ致サマルヲ得マイカトモ存シマシテ政府委員ニ彼是質問モ致シマシタガ一以テ満足ヲ致シマスル所

賛成者

公爵二條基弘

外三十八名

ノ答辯モ得マセズ然ル所マダ府縣制ヲ實施セザル所ノ府縣ニ對シマシテハ當年中ニハ必ズ之ヲ實施致シマスル決心ナルコトヲ確メマシタ、然ルニ於キマシテハ一般同様必要ノ場合已ムヲ得ザルニ際シマシテハ内務大藏兩大臣ニ具申シテ更ニ地租ニ賦課シ得ルノ道モアキマスルコトデゴザイマスカラ旁以テ始ニ決シマシタ通大多數、一人ノ反対アルノミヲ以テ現ニ可決致シマシタルコトデゴザイマスカラ、自然細カキ御不審ガゴザイマスルナラバ本員ハ誠ニ不案内千萬ナルコトデ逃モ十分ナル御答辯ハ爲シ得ヌコトデゴザイマスカラ、政府委員ニ就イテ御訊シヲ願ヒタク存ジマスルシ然ラザレバ斯ノ如ク申述ベマシタル理由アルモノデゴザイマスカラ讀會省略ト相成リマシテ速ニ原案通可決アランコトヲ望ミマス

○中西光三郎君 読會省略ニ賛成致シマス

○松永安彦君 賛成
ウゴザイマスカ

○松岡康毅君 私ハ賛成デヤゴザイマセヌ、質問致シタウゴザイマスガ宣シ

○議長(公爵近衛篤齊君) 宜シウゴザイマス

○松岡康毅君 此特別地租ノ掛クタ所ニ對シテハ府縣稅ヲ附加シナイト云フハドウ云フ主意カラ起リマシタカハ心得マセヌガ、政府ハ同意ヲセラレルノデゴザイマセウカ、如何ト云フコトヲ承リタイ

(政府委員深野二三君演壇ニ登ル)

○政府委員(深野二三君) 御答致シマスガ、コレハ過日モ説明ヲシテ置キマシタ通ニ政府ハ別ニ差支ナイト云フコトヲ申シテ置キマシタ、ソレデ御分りニナリマセヌカ……

○子爵板倉勝達君 賛成
(「賛成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 読會省略ノ動議ハ成立シマシタ、是ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○子爵板倉勝達君 賛成
(「賛成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマンタ

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
明治三十二年度ヨリ同三十六年度迄五箇年間市街宅地及田畠其ノ他ノ地目ニ就キ特別増徴ノ地租ニハ府縣稅又ハ市町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 次ニ本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス、北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案男爵小澤武雄君外二名發議會議

○議長(公爵近衛篤齊君) チヨット、提出文ヲ朗讀サセマス

(小原書記官朗讀)
北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也
明治三十二年二月二十日

發議者

男爵小澤 武雄
外二名

要アルトス考ヘルノデス、ソレデ此事柄ハ其道廳ニ於テモ甚ダ希望ヲ致シテ政府ニ於テモ此案ニ希望ヲシテ居ルヤウニ承フテ居リマスガ、何故デアリマスルカ、甚ダ遲延ニナ、

ニナ、テ居ルヤウニ承フテ居リマスガ、何故デアリマスルカ、甚ダ遲延ニナ、
テ居リマスルガ、到底右ノ有様デアルカラ此次ノ會期マデモ待ツ譯ニモ往キ
マセヌカラ、此會期ノ切迫シタニモ拘ラズ本員カラ建議ヲ致シテ豫ノ政府デ
モ計畫ニナ、テ居ルノアルカラ即チ本院ノ決議ヲ容レラレテ速ニ提出ニナ
ルコトダラウト信ジテ居リマスカラ、此處ニ此建議案ヲ提出シタ譯デゴザイ
マスカラ、宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、温泉津燈臺建設ノ請願會議

○岡内重俊君 例ニ依フテ一括シテ問題ニ供セラレシコトヲ希望致シマス、
尙ホ此請願中削除ヲ要求スル件ガ四件アリマスルカラ其日程ノ中ノ第二十
七、第三十、第三十三、第二十六、此四件ノ請願書ハ此本案ガ議決ニナリマシ
タ理由竝ニ十六日ニ採決スペカラズト云フコトニ決シマシタ其決議ノ理由ニ
依フテ是ハ削除ヲ要求致シマス、其他ハ一括シテ問題ニ供セラレシコトヲ希
望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今ノコトハ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ唯今ノ四箇條ハ除キマセテ他ノ請願ハ總テ
採擇シテ然ルヘキモノトシテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本日ノ議事ハ是ニテ了リマシタ、先刻來御委託ニ
ナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

(太田書記官長朗讀)

由紙税法案兩院協議委員

子爵由利公正君	子爵笠原壽長君	子爵青木信光君	男爵基良君	男爵成秀君	男爵渡辺君	男爵尾澤君	男爵伊藤君	男爵井林君	男爵守俊君	男爵正君	男爵二君
---------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------

○議長(公爵近衛篤磨君) 明日ノ日程デゴザイマスルガ、北海道水產稅則法
律案竝ニ肥料取締法案ト云フモノハマダ成規ノ日數ヲ經マセヌノデアリマス
ルガ會議モ段々切迫ラ致シマシタカラ明日ノ日程ヘ掲ゲルト云フコトニ御異
議ナクバ掲ゲルコトニ致シマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 併セテ御協議シテ置キマスルガ、會期ガ切迫シテ
居リマスルカラ、總テ議事日程ノ編製ノ時分ニハ成規ノ日數ヲ經ズトモ載セ

ルト云フコトヲ御認諾ヲ得テ置キタイト思ヒマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

(太田書記官長朗讀)

第一讀會 第一讀會

府縣制改正法律案(議院送付案)

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉